

2025 年度 白梅学園大学・白梅学園短期大学
総合型選抜 特待生チャレンジ入試

「国語」

【出題意図】

大問一・二は、漢字の問題である。高校までで知っているべき漢字の読みと書きを出題し、基本的な語彙力と筆記能力を問うている。

大問三・四は、高校までの現代文の読解力を問う問題である。いずれも 3500 字～4000 字程度の文章をもとに、論説文によって学力を問う。芸術論や文学論、言語論、哲学などから心理学や社会福祉学にまでおよぶ文章から出題している。

このうち、大問三は、主に人権意識の観点から、国際的な基準の統一のしがたさについて述べる本文の読解力を問うている。もう一方の大問四は、中世ヨーロッパの都市空間や建築様式を話題とした本文の読解力を問う問題となっている。

いずれも、適切な語句の穴埋め問題や、類似表現の言い換え、著者の主張の把握などを中心として、80 字～100 字の記述問題、文章全体の正誤を尋ねる問題を出題しており、論理的な思考力、正しい読解に基づく判断力、長文の表現力が問われている。